

* * エクセル関数講座 * *

<家計簿を作る>

1.

年選択：A1、ドロップダウンリスト（2023～2025 選択可）

年：B1、太字

月選択：A2、ドロップダウンリスト（1～12 選択可）

月：B2、太字

2.

タイトル：D1、太字、赤、14pt

本日の日付：I1、TEXT 関数、TODAY 関数

TEXT(元の値,"表示したい書式") ※書式はダブルクォーテーションで囲む

TODAY()

3.

前月繰越額：項目名（D2、太字、背景：水色、文字：白）

前月繰越額：数字（手入力）

4.

次月繰越額：項目名（F2、太字、背景：水色、文字：白）

次月繰越額：計算式：収入計－支出計

5.

現在残高：項目名（H2、太字、背景：水色、文字：白）

現在残高：計算式：前月繰越額＋収入計－支出計

6.

単位：円：項目名：(J2)

7.

表全体を罫線で作る

メインの表：(A3～J3 5)

数値データ(金額)：3桁ごとにコンマを打つ

メッセージ表：(L3～N1 2) ※必ず数値は昇順(小→大)に並べ替えておくこと。

8.

メイン表（万年カレンダー：IF 関数、AND 関数、OR 関数、MOD 関数、TEXT 関数、DATE 関数

* * エクセル関数講座 * *

IF(条件,処理 1,処理 2)

AND(条件 1,条件 2,・・・条件 N)、OR 関数(条件 1,条件 2,・・・条件 N)

MOD(割られる値,割る値)

TEXT(元の値,"表示したい書式")

DATE(年データ,月データ,日データ) ⇒ バラバラの日付をまとめ、そのシリアル値を返す

日：年月によって表示、非表示が変わる

曜日：日が表示されている場合だけ曜日表示

曜日の書式設定 (土)：青、(日)：赤 ※祝日は考える必要なし

うるう年、大小月の判定

9.

メイン表 (収支計、各項目計)

支出計(横計)：日ごとの支出計：SUM(セル範囲)

各項目計(縦計)：SUM(セル範囲)

10.

メイン表の集計エリア (C36~J38)

支出構成比：支出計に対する各支出項目の構成比(%)、分母のゼロチェック

対収入構成比：収入計に対する各支出計の構成比(%)、分母のゼロチェック

エンゲル係数：支出計に対する食費の構成比(%)

メッセージ：エンゲル係数に合致したメッセージをメッセージ表から検索、抽出して表示

IF(条件,処理 1,処理 2)

ISERROR(エラーを調べる式や関数)=TRUE(エラー), FALSE(エラーでない)

VLOOKUP(検索したい値,検索する表の範囲,何列目,TRUE)

11.

メッセージ行：表示されたメッセージに書式を設定する

現在メッセージ表の何行目のメッセージが表示されているかを検索する(IF 関数、MATCH 関数)

MATCH(検索したい値、検索する表の検索範囲、0)

条件付き書式設定

20%未満：太字、緑

20%以上：太字、赤